

製品名: GRM2 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM81967

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.6kDa

抗原情報

遺伝子名	GRM2
別名	GLUR2; mGlu2; GPRC1B; MGLUR2
遺伝子 ID	2912.0
SwissProt ID	Q14416
免疫原	大腸菌で発現したヒト GRM2 の精製された組み換え断片 (AA: 余分な 414-558)。

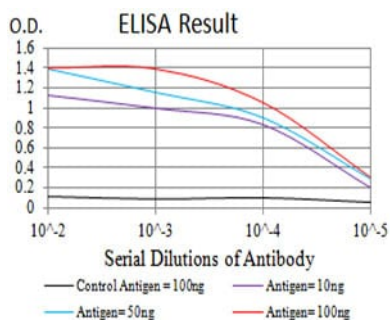
背景

L-グルタミン酸は中枢神経系の主要な興奮性神経伝達物質であり、イオンチャンネル型および代謝型グルタミン酸受容体の両方を活性化します。グルタミン酸作動性神経伝達は正常な脳機能のほとんどの側面に関与しており、多くの神経病理学的状態では障害を受け

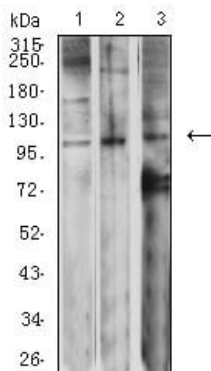
る可能性があります。代謝型グルタミン酸受容体は G タンパク質共役受容体のファミリーであり、配列相同性、推定シグナル伝達機構、および薬理学的特性に基づいて3つのグループに分類されています。グループ I には GRM1 と GRM5 が含まれ、これらの受容体はホスホリパーゼ C を活性化することが示されている。グループ II には GRM2 と GRM3 が含まれ、グループ III には GRM4、GRM6、GRM7、および GRM8 が含まれます。グループ II および III の受容体は、環状 AMP カスケードの阻害に関連していますが、アゴニスト選択性が異なります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

研究分野

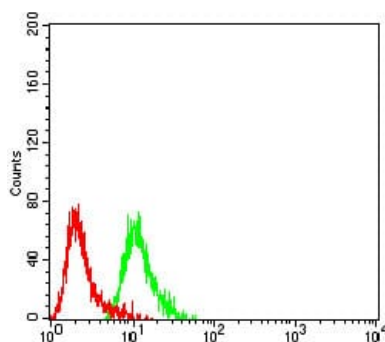
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



SK-N-SH (1)、Jurkat (2)、および SW620 (3) 細胞溶解物に対する GRM2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



GRM2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した SK-N-SH 細胞のフローサイトメトリー分析。